

## ポイント

- ・分施肥系では生育量に応じて、追肥の時期と量を変えましょう！
- ・出穂期は最も水を必要とするため、こまめな間断かん水をしましょう！
- ・カメムシ類対策として、草刈りを出穂期までに2回実施しましょう！

## 1 気象概況(宇都宮气象台)

本年は、田植えが集中する5月の平均気温が19.3℃(平年差+2.1℃)と高く推移しました。関東甲信地方の梅雨入りは6月7日頃(平年6月8日頃)で、6月の降水量は288.5mm(平年比164%)と多くなっています。

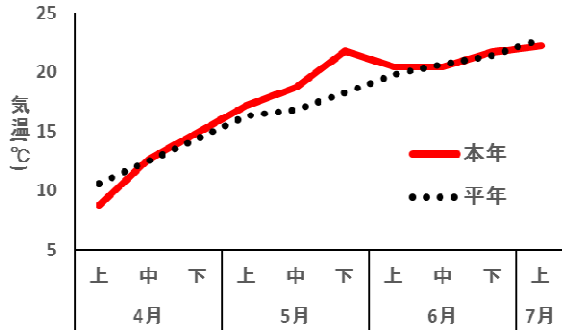


図1 旬別平均気温(°C)

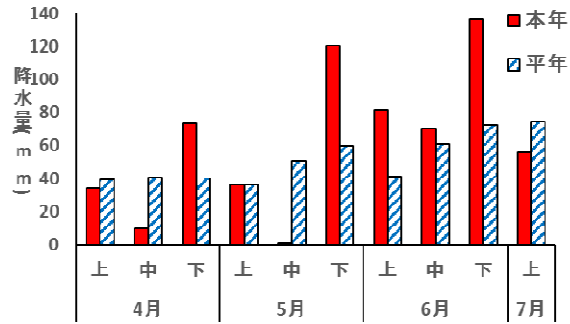


図2 旬別降水量(mm)

## 2 生育状況(水稻生育診断ほ)(7月5日調査)

### (1) 分施肥系

草丈はやや長く(平年比103%)、茎数は少なく(平年比90%)、葉齢はやや少なく(平年差-0.2)、葉色はやや淡い(平年差-0.3)状況です。生育診断値は平年比89%と小さくなっています。

### (2) 全量基肥体系

草丈は短く(平年比93%)、茎数は多く(平年比117%)、葉齢はやや少なく(平年差-0.5)、葉色はやや濃い(平年差+0.4)状況です。生育診断値は平年比128%と大きくなっています。

表1 生育診断ほ生育調査結果(品種:コシヒカリ 分施肥5/2、全量基肥5/3移植)

施肥体系	年次	草丈 (cm)	1株茎数	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色	生育診断値 (茎数×葉色)	幼穂長 (cm)
分施肥	本年	72.0	26.0	458.4	11.3	3.8	1742	0.38
	平年	69.9	25.5	511.9	11.5	4.0	2035	0.50
全量基肥	本年	70.4	27.9	493.5	11.1	4.4	2172	0.28
	平年	75.8	23.7	421.0	11.6	4.0	1684	0.77

注) 平年値は分施肥:1986～2018年(33年間)、全量基肥:2016～2018年(3年間)の平均値を指す

## 3 出穂期予測

今後、気温が平年並に推移すると、5月4日移植のコシヒカリの出穂期は7月29日頃と平年より3～4日早い見込みです(平年8月1日)。

表2 出穂期予測(平均気温から算出したDVS値による予測、7月4日現在)

	今後の平均気温(平年との比較)		
	2.0℃高く推移	平年並	2.0℃低く推移
出穂期予測 (宇都宮市)	7月27～28日頃	7月29日頃	8月1日頃

## 4 追肥

追肥は生育量に応じて量や時期を変えましょう。生育診断値を目安に、生育量が旺盛な場合は追肥の時期を遅らせる、または減肥します。生育量が小さい場合は追肥時期をやや早めましょう。

表3 追肥時期及び施用量

	コシヒカリ	なすひかり	とちぎの星・あさひの夢	きぬはなもち
追肥時期	出穂前15日	出穂前20日	出穂前18～20日	出穂前20日
幼穂長	2.0cm程度	0.4cm程度	0.4～0.7cm程度	0.4cm程度
施用量(N成分)	3kg/10a程度	3kg/10a程度	2～3kg/10a程度	3kg/10a程度

注) 追肥時期は一発穂肥(BBNK202等)を使用した場合を指す。穂肥を2回に分ける場合は、施用量の半分量を上記に施用し、7～10日後に残り半分量を施用する。

表4 生育診断指標

品種	時期	葉色	茎数	葉色×茎数
コシヒカリ	出穂前15日	3.6～4.0	400～430	1,450～1,700
なすひかり	追肥時期	4.0～4.2	530～560	2,100～2,350
とちぎの星	追肥前	3.6	460～480	1,600～1,800
あさひの夢	出穂前30日	3.8～4.0	560～580	2,100～2,300

## 5 水管理

表5 出穂期頃の水管理

生育ステージ	水管理	備考
出穂前14～7日頃	間断かん水 (必要に応じて深水管理)	・最も低温に弱い時期。 ・最低気温17℃を下回る場合は深水管理(15cm以上)
出穂期	間断かん水	・最も水を必要とする時期。こまめな間断かん水とする。
登熟期	間断かん水	・出穂後は徐々にかん水間隔を延ばす。 ・異常高温時は夕方～夜間のかん水により地温を下げる。 ・異常高温時の常時湛水は根腐れを引き起こすので注意する。
落水の時期	- (必要に応じて走り水)	・落水は出穂後30日以降とする。 ・落水後、高温・多照が続く場合は収穫7～10日前まで走り水を実施する。

## 6 病虫害防除

### 斑点米カメムシ類

ほ場内、周辺の草刈りを出穂期2～3週間前＋出穂期頃 の2回実施します。2回草刈りが出来ない場合は、出穂10日前までに草刈りを済ませましょう。本田防除を実施する場合は最新の薬剤情報を確認し、散布をしましょう。

### 稲こうじ病

銅剤は出穂期20～10日前、シメコナゾール粒剤は出穂21～14日前に散布しましょう。

### いもち病

葉いもち感染好適条件判定結果(BLASTAM)によると、感染好適条件が揃っている日が数日あります。ほ場をよく観察し、本田防除をする場合は、箱施用剤とは異なる系統の薬剤を使用しましょう。



7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

高齢者の事故が多発しています！余裕を持った作業を心がけましょう。